【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成25年8月8日(2013.8.8)

【公開番号】特開2012-16449(P2012-16449A)
【公開日】平成24年1月26日(2012.1.26)
【年通号数】公開・登録公報2012-004
【出願番号】特願2010-155045(P2010-155045)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　1/00　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　23/24　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　1/04　(2006.01)
Ｈ０４Ｂ　10/00　(2013.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　1/00　３２０Ｂ
Ｇ０２Ｂ　23/24　Ｂ
Ａ６１Ｂ　1/04　３６２Ｊ
Ｈ０４Ｂ　9/00　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成25年6月24日(2013.6.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
更に、筐体１０内にはＣＰＵ（Central Processing Unit)１４Ａおよびコイル（磁力・電流変換コイル）１５Ａが設けられている。ＣＰＵ１４Ａは、カメラ１１Ａによる撮影、およびメモリ１２Ａへのデータ蓄積動作を制御すると共に、メモリ１２Ａから無線送信機１３Ａによる筐体１０外のデータ受信装置２（データ転送パッド２Ａ）へのデータ送信を制御するものである。コイル１５Ａは、カメラ１１Ａ，メモリ１２Ａ，無線送信機１３Ａ、アンテナ１３Ｂおよび後述する光源１１ｂへの電力供給を行う。更に、この筐体１０には、当該カプセル内視鏡１Ａを後述のようにデータ転送パッド２Ａにセットした際に、これを検知するための磁気（リード）スイッチ、磁気センサなどのセンサ（ここではリードスイッチ１６Ａ）が設けられている。ＣＰＵ１４Ａはこのリードスイッチ１６Ａがデータ転送パッド２Ａへのセットを検知し、データの送信が可能になった時点で、コイル１５Ａからの無線送信機１３Ａへの電力供給を行うようになっている。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
カメラ１１Ａは、例えば体腔内の画像を撮影するための対物光学系、例えばレンズ１１ａ、体腔内を照明する複数（ここでは２個）の光源１１ｂを有している。具体的には、例えば光源１１ｂとしてＬＥＤ（Light Emitting Diode）を備えたＣＭＯＳ（Complementary Metal Oxide Semiconductor ）センサまたはＣＣＤ（Charge Coupled Device ）等によって構成されている。
【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３０】
筐体１０は、半球状の両端面のうち一方の端面は透明プラスティックドームによって形成され、その他の部分には金属およびカーボンを実質的に含まないシリコン、プラスティック等が用いられている。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３８】
続いてデータ転送パッド２Ａを介してホストコンピュータ３Ａへのデータ転送が開始される（ステップＳ１０５）。具体的には、メモリ１２Ａから無線送信機１３Ａによりデータ伝送が開始され、送信されたデータは送信アンテナ１３Ｂおよび受信アンテナ２１Ｂを介してデータ転送パッド２Ａの無線受信機２１Ａにより受信される。無線受信機２１Ａにより受信されたデータは転送部２２によりケーブル２３を介してホストコンピュータ３に送信される。ホストコンピュータ３では、転送されたデータの信頼性を確認し、データ伝送の終了を表示部３４に表示する（ステップＳ１０６）。最後に、カプセル内視鏡１Ａはデータ転送パッドから取り出される（ステップＳ１０７）。